



市立伊丹病院 薬剤部

薬剤部紹介
(2022年11月)

市立伊丹病院

安全で良質な信頼される医療を提供することにより、
地域医療の発展に貢献します。

市立伊丹病院は、地域の中核病院として救急初期診療から高度専門医療までの幅広いニーズに応え、質の高い医療を提供することを理念として医療活動を行っています。

令和7年度、市立伊丹病院は近畿中央病院と統合し、現在の市立伊丹病院の敷地内に、基幹病院と健康管理施設からなる統合新病院が誕生します。統合新病院は、「地域に信頼される安全で安心な医療の提供と健康づくりの推進」「職域と地域に応える健康づくり」という二つの基本理念を実現する、高度急性期に対応した病院となります。

- 病床 : 414床
- 資格等 : 地域医療支援病院、臨床研修病院 (基幹型)
国指定 地域がん診療拠点病院
日本医療機能評価機構認定病院 ほか



薬剤部

安全で安心な信頼される薬物治療を通して
患者に寄り添う医療を提供します。

薬剤部では、外来や入院での調剤業務を通して、医薬品の適正な使用、管理、供給を推進しています。また、全病棟に薬剤師を配置し、情報提供や薬物治療の安全性と有効性の確保に取り組んでいます。チーム医療では、医薬品の専門職として数多くのチームに貢献し、さらに医薬品に関連した事故防止にも積極的に参画しています。

我々は、安全で効果的な薬物療法を通して、患者さまが安心して療養いただけるよう、質の高いファーマシューティカルケアの提供に取り組んでいます。



業務内容

1. 調剤業務



外来患者さまについては、全面院外処方を実施しています。

入院患者さまについては、医師の処方箋に基づき調剤を行っています。処方箋に記載された薬の投与量や投与方法、飲み合わせなどの適正を確認しています。

また、薬品に記載されたGS1バーコードを活用して、投薬ミスを防ぐシステムを導入しています。

2. 注射払い出し業務

主に、入院中の患者さまに使用される注射薬を、注射薬自動払出しシステムを導入し、個人別、施用日別にトレイに入れて調剤しています。

注射処方箋の用法・用量、配合変化などのチェックを行い、注射薬が適正に使用されているか確認しています。

また、外来や病棟に配置してある薬品は、これらを使用した分の補充を行い、在庫不足が生じないようにしています。



6. 抗がん剤の調整



抗がん剤の投与計画は患者さまごとに異なるため、身長や体重、薬の投与量や投与期間、投与方法のチェックを行い抗がん剤の適正使用に寄与しています。

外来患者さまや入院患者さまの抗がん剤の調製をしています。抗がん剤の被ばくを防ぐため、閉鎖式接続器具を使用し、防塵衣・二重ゴム手袋などを着用し、安全キャビネットと呼ばれる装置の中で行っています。



7. TPNの調整

食事の取れない患者さまに投与する高カロリー輸液は、無菌室と呼ばれるほこりや細菌が極めて少ない室内に置いてあるクリーンベンチと呼ばれる装置の中で無菌混合調製しています。



医薬品の使用方法や副作用情報などを、医師や看護師、そして患者さまへ提供しています。また、医師や看護師などの院内スタッフや患者さまから寄せられる医薬品に関する様々な質問にもお答えし、医薬品が安全かつ有効に使用されるように努めています。

3. 医薬品情報管理・提供業務 [DI業務]



病院の電子カルテを運用していくうえで重要である医薬品データベースの登録や管理を行い、医師が適切に処方を行えるようにするとともに、院内での薬の重複や相互作用が起こらないように工夫をしています。

4. 薬品在庫管理



病院内で使用する医薬品の購入と在庫管理を行っています。

また、在庫薬品の有効期限を管理するとともに、過剰在庫の防止など効率的な薬品在庫管理を推進するように各部署への薬品の安定供給を図っています。

5. 持参薬面談・鑑別業務

入院時に患者さまが服用されている薬（目薬、貼り薬、塗り薬など全ての薬）について、持参薬コーナーで、薬剤師が面談を行っています。そして、面談の情報をもとに持参薬の鑑別、整理を行い、医師の承認後、薬袋に入れて病棟に搬送しています。

8. 製剤

医薬品メーカーから市販されていない薬を調製しています。また、特定の患者さまに使用する注射薬や坐薬なども調製しています。

9. 服薬指導業務・薬剤管理指導業務

服薬指導は薬を使用する意味や目的、服用方法などを説明して、薬を忘れずに正しく使用してもらうことを目的としています。

薬の副作用と思われる症状が出た時などに、正しく対処できるよう、薬についての注意事項（副作用などを含む）を説明することで、薬の安全かつ有効な使用へ寄与しています。

また、入院中の患者さまについては、ベッドサイドで薬剤の説明や指導を行っています。医師・看護師などの病棟スタッフと情報共有し、副作用の回避・早期発見に努め、適切な薬物治療を受けられるように活動しています。

10. 新規採用職員・薬学実務実習生の教育



新規採用職員や薬学実務実習生の教育については、教育実習プログラムに基づいて指導薬剤師が1対1で指導を行います。また、各専門チームにも、ローテーションで参加していただき、専門知識を幅広く習得していただけます。

医療チーム紹介

がん化学療法チーム



当院では、医師、看護師、薬剤師および様々な専門職が、各専門分野の意見や知識を交換し、治療から療養生活に至るまで、総合的に患者さまを支援しています。

がん医療における薬剤師の役割として、患者さまに抗がん剤治療に関する理解を深めていただくための説明を行っています。また、副作用の重篤化回避、あるいは治療に難渋する患者さまに適した処方提案・処方設計を担うために、専門的な知識を持つ薬剤師が、がんチーム医療をサポートしています。

人が生きていく為に必要なものは、『食べること』すなわち『栄養』です。病気を治すための基本となるのも『栄養』です。NST活動を通じて、『食べる』ことを目標に『食べられる』までの間の点滴の選択、調製、飲んでいただく栄養剤の選択などに関わり、よりよい治療効果が得られるよう『栄養面』より患者さまをサポートしています。

栄養サポートチーム [NST]



緩和ケアチーム [PCT]

チームの一員として薬学的な立場から、患者さま個々に最適な薬剤の選択や投与量設定などを提案し、医師・看護師等と連携して安全で有効な薬物治療支援を行っています。また、安心してお薬を服用できるよう患者さまやご家族に寄り添った服薬指導や相談を行い、患者さまが痛みや苦痛から解放され、その方らしい生活が送れるようサポートしています。

さらに、院内がん疼痛マニュアルの作成や医療スタッフへの緩和ケア教育活動にも関わっています。

リエゾンチーム

「リエゾン」とはフランス語で「連携」を意味することばです。リエゾンチームでは、入院中の患者さんが心理的問題に直面し、メンタルサポートや精神医療が必要な場合に主治医や病棟看護師、病棟薬剤師と連携しながら支援しています。

薬剤師は、対象となる患者さまが使用している薬剤の服用状況・相互作用の確認、介入後の薬剤の効果・副作用のモニタリングなどを行っています。また、カンファレンスや回診で得た情報を病棟薬剤師と共有し、安全な医療、安心な環境を提供する縁の下の力持ちとして活動しています。



ポリファーマシー対策チーム

ポリファーマシーによる有害事象、アドヒアランス低下、相互作用などの問題が報告されています。当院では、多病にともない内服数が増加しやすい高齢者を中心に、カンファレンスを行っています。

薬剤師は、医師、病棟薬剤師、病棟看護師と連携を取り、適切な薬物治療を行えるよう、処方薬の見直しに取り込んでいます。

特に、睡眠薬による転倒やせん妄などの有害事象の軽減のため、睡眠薬の適正使用の推進にも取り組んでいます。



転倒予防チーム

転倒の要因は多岐にわたるため、転倒リスク軽減のための環境調整や、帽子・靴の正しい着用の啓発などをラウンド時に

伝達し、医師と連携した転倒ハイリスク薬の調整など、各職種が専門性を活かし転倒予防活動を行っています。年に一度の市民公開講座、広報伊丹等、市民向けの情報発信も行い、地域の転倒予防に寄与できるよう日々活動しています。



感染対策チーム [ICT]

抗菌薬適正使用支援チーム [AST]

医師・看護師等と共に院内における感染の防止・制御、耐性菌出現の予防および治療において支援を行っています。抗菌薬や消毒薬が適正に使用されるように、使用状況の調査、抗菌薬の血中濃度の確認等を行っています。また、患者さま個々に応じた薬物治療が有効に安全に行えるようにサポートしています。



糖尿病医療推進チーム

糖尿病専門医の指導のもと糖尿病療養指導士の資格を取得し、チームの一員として患者さまの療養のお手伝いができるよう努めております。また、すこやか外来教室では糖尿病の薬物治療のお話をするなど、患者さまの糖尿病治療に対する理解を深めていただけるようサポートしています。



これまでに紹介したチーム以外にも、チームの一員として薬剤師が活動しています。

- 認知症ケアチーム
- 褥瘡対策チーム
- 呼吸ケア支援チーム [GBST]



先輩の声

20代女性（2019年入職）

病院見学を通して薬剤部の雰囲気良さや働きやすい労働環境に魅力を感じたことが当院に入職したと思ったきっかけです。

チーム医療では、ローテーターとしてさまざまなチームに参画して専門薬剤師としての役割を経験することができます。一年目から幅広く業務に携われますし、分からないことがあれば先輩方に質問しやすく、日々成長できる環境が整っています。

30代男性（2022年入職）

中途採用者に対しても薬局全体で教育・育成していく姿勢が感じられます。指導担当者が配置されており、1対1で定期的に面談を行っています。3ヶ月程度のカリキュラムが組まれ、業務の進捗状況を確認して不明点をなくし、不得意業務がないよう配慮いただきながら業務を行うことができます。

薬局内には常勤や非常勤、事務員、派遣職員が在籍しており年齢層も幅広いが、職場の雰囲気は良好と感じています。相談しやすい人が多く、わからないことは親切丁寧に指導していただいています。

また、子育てに対する理解もあり、子どもの急な発熱などで休まないといけない状況でも快く休暇をいただけ、大変助かっています。

ある1日のスケジュール [病棟業務]

8:30～	集中調剤
9:00～	病棟業務
11:30～	お昼休憩（1時間）
12:30～	調剤業務
13:30～	昼礼
13:40～	病棟業務
17:15	終業



伊丹市マスコット『たみまる』

ある1日のスケジュール [チーム活動]

8:30～	集中調剤
9:00～	カンファレンス準備
10:30～	チームカンファレンス
12:30～	お昼休憩（1時間）
13:30～	昼礼
13:40～	調剤業務
17:15	終業

職員在籍状況

薬剤師（常勤）	:	27名	（男女比 7：20）
薬剤師（会計年度職員）	:	2名	
調剤補助事務員	:	4名	

薬剤師 年齢構成	20代	30代	40代	50代以上
人数	4名	10名	5名	10名

認定取得状況

日本医療薬学会 がん専門薬剤師	3名
認定実務実習指導薬剤師	8名
日本病院薬剤師会生涯研修認定薬剤師	3名
緩和薬物療法認定薬剤師	1名
日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療法士	3名
小児薬物療法認定薬剤師	2名
日本癌治療学会 認定データマネージャー	1名
漢方薬・生薬認定薬剤師	1名
日本糖尿病療養指導士	2名
日本医療薬学会 認定薬剤師	2名
日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	4名
日本麻酔科学会 周術期管理チーム薬剤師	1名
スポーツファーマシスト	3名
日病薬病院薬学認定薬剤師	6名
感染制御認定薬剤師	2名
抗菌化学療法認定薬剤師	1名
転倒予防指導士	1名

研修施設

- がん専門薬剤師研修施設 [日本医療薬学会]
- がん薬物療法認定薬剤師 暫定研修施設 [日本病院薬剤師会]
- 緩和医療専門薬剤師研修施設 [日本緩和医療薬学会]
- 地域緩和ケアネットワーク研修施設 [日本緩和医療薬学会]
- 薬学生実務実習受入施設 [薬学教育協議会]

待遇等

※募集状況については、採用ページの募集要項をご確認ください。

●職員の身分

地方公務員

●給与月額（地域手当含む）（令和4年10月現在）

大卒6年制 219,890 円

大卒4年制 205,920 円 ※免許取得後の経験年数に応じて決定

諸手当

規定により、住居手当、通勤手当、扶養手当、期末勤勉手当（賞与）、特殊勤務手当等を支給します

●勤務体制（二交代制）

月～金

日勤 8:30～17:15（休憩1時間）

夜勤（1人） 16:30～9:00

土日祝（当番制）

日勤（1～2人） 8:30～17:15

夜勤（1人） 16:30～9:00

●休暇

週休2日制（土日祝に勤務した場合、振替休日があり）

年次有給休暇：年間最大20日付与

（初年度は採用月により異なる、有給取得率：平均11日/年）

夏季休暇：5日間

忌引休暇等の各種休暇制度あり

●福利厚生等

年金・貸付等

兵庫県市町村職員共済組合に加入します

（年金・各種給付・貸付制度あり）

福利厚生

伊丹市職員厚生会に加入します

（レクリエーション行事等、福利厚生事業に参加できます）

院内保育所あり

被服の貸与あり

●病院見学

採用や病院見学に関するお問い合わせは、総務課へお電話かメールまたはホームページの問合せフォームにてご連絡ください

市立伊丹病院 総務課人事研修担当

TEL：072-777-3118（人事研修担当直通） 平日 9:00～17:00

e-mail：itami-hp@city.itami.lg.jp

9



伊丹市マスコット『ひこまる』

アクセス

阪急伊丹駅から市営バスで約15分

JR伊丹駅・JR中山寺駅から市営バスで約20分

問い合わせ先

市立伊丹病院

〒664-8540

兵庫県伊丹市昆陽池1丁目100番地

電話：072(777)3773 代表

FAX：072(781)9888 代表

Web：http://www.hosp.itami.hyogo.jp

採用に関する問い合わせ

総務課人事研修担当

TEL：072-777-3118（人事研修担当直通）

平日 9:00～17:00

e-mail：itami-hp@city.itami.lg.jp



10